

平成二十二年度入学式式辞

ときまさに満開のサクラが散り始めるとともに、国際アカデミーのキャンパス内には次から次へと様々な花が咲き乱れ、まるで桃源郷のような風景がみられる季節を迎えています。

当校に入学されました26名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

ご参列の保護者の方々にも、心よりお祝いを申し上げます。

また、この度はご多忙にもかかわらず、岐阜県議会議員の先生方をはじめ、可児市長様、県農林高等学校校長会会長様、十六銀行様、大垣共立銀行様、県農政部次長様、農産園芸課長様、当校運営諮問会議会長および委員の方、各農林事務所長様、多数のご来賓方々のご臨席を賜り、ここに岐阜県立国際園芸アカデミー入学式を挙行できますことは、大きな喜びでございます。皆様方には平素から本校の教育に多大なご支援、ご協力を賜っておりますことに、この場をお借りしまして改めて厚く御礼申し上げます。

さて、本校は平成16年に花と緑に関する専門的な知識と技術を有する人材を育成することを目的に創立され、今年で7年目を迎えます。この間、上級マイスター科では三十名、マイスター科では九十四名の卒業生が社会に巣立ち、それぞれの分野で活躍をしています。

開校以来の当校の教育の特徴は、どの分野に進む学生にも園芸、造園に関する幅広い知識、技術を修得させ、社会の現場での即戦力となるよう、実践を重視した授業が組み立てられていることと、少人数濃密指導が行えることです。

皆さんはこれまでの学生生活とは異なり、社会に出る前の最後の学びとして、それぞれがいただいている夢を実現するため、自ら考え自ら行動し、社会に出たときに役立つ学びを得て行ってほしいと願っております。今、社会が求めている人材に必要な能力として、コミュニケーション能力が第一に挙げられており、続いて、協調性、主体性などがあります。当校のような少人数で授業が行われる環境は、このような能力の訓練にも適しています。先輩や仲間と交流し、様々な分野の先生方と議論し、自分を高めて下さい。そして、どのような場面にも対応できる豊かな感性と柔軟な発想をもった人材となってください。

ここで、原点に戻り、花と緑のもつ機能について、これから述べることで改めて認識してほしいと思います。

明治時代の美術評論家で思想家であった岡倉天心が日本文化を欧米に伝えた名著、茶の本の中、生け花の章で、花について、以下のように述べています。そこでは「原始の人間は、その乙女に最初の花束を捧げたときに、そのことによってその獣性から脱した。彼はこのようにして自然のありのままの状態を超えることによって、人間となったのである。彼が無用なものの微妙な用を認めるとき、芸術の領域へと踏み入ったのである。歓びにつけ、悲しみにつけ、花はわれわれの変わらぬ友である。……花なくして、どうして生きていかれようか。花のない世界を想像するだけでもおそろしい。花は病める人の枕辺に、どれほどの慰めをもたらしてくれることか、疲れた心の闇に、花は至福の光をもたらして

くれる。」と彼は述べています。ここでいう原始の人間とは、ネアンデルタール人のことを指していると思われます。イラク北東部、シャニダールという洞窟で5～6万年前の原始人ネアンデルタール人の化石骨が発見されました。その化石骨の周辺から考えられない量の植物の花粉が見つかりました。これは、亡くなった人を埋葬する際に花をたむけたのであろうということです。この発見により、ネアンデルタール人は最初に花を使った人類で、類人猿からヒトになったのです。ネアンデルタール人は、人が亡くなった悲しみの感情を花に託したことになります。このように花は人がヒトである根本のところでも使われてきたことになります。花は心の食べものといわれ、生活にうるおいをもたらし、人生を豊かにしてくれます。岡倉天心が無用なものの微妙な用を認めたときに芸術の領域へと踏み入るといっているように、花は食べられるものではありませんが、人にとって重要な役割、つまり用をなしているのです。

皆さんはこのアカデミーでの2年間または4年間で、このような役割をもつ花を如何に作り、活かしてゆくかを学び、社会で実践してゆくことになります。

以上申し上げましたように、人がヒトたる最も根源的な、人が感情を託してきた花と緑を扱える仕事に皆さんは就けることに誇りをもって勉学に励んでほしいと思っています。その学びを私たち教職員が一丸となりサポートして行きますので、学生の皆さんは安心して学生生活を過ごしてください。また、保護者の皆様も安心して私たちにお任せください。今日、ご出席いただきました御来賓の皆様におかれましてもこれまでも増してのご支援、ご協力のほどお願いいたします。

最後に、新入生の皆さん一人一人が、心身ともに健康で、有意義な学生生活を全うされることを切に願い、私の式辞と致します。